

## 中国における「池田思想」研究の動向（22）

高橋 強・堀口 真吾

### 1. 池田思想研究に関する学術シンポジウム、フォーラム等

#### (1) 第16回「池田大作平和思想研究国際フォーラム」

##### 第10回「池田大作思想研究国際青年フォーラム」

2025年2月27日、台湾・中国文化大学にて、「平和・文化・教育——21世紀の青年の使命」とのテーマのもと、上記2つのフォーラムが同大学「池田大作研究センター」主催で開催され、約350人の学生や教員らが集った。同フォーラムには、20大学25人の研究者らが論文を寄せた。

開幕式の冒頭、これまで別々に行われていた研究者のフォーラム、院生の青年フォーラムを今回より合同開催する旨の報告があり、これまでを総括する映像が放映され、池田大作氏と張鏡湖前理事長の友誼、創価大学と中国文化大学の交流の歴史、池田思想研究の成果等が紹介された。

開幕式では、林彩梅元学長による歓迎挨拶の後、同センターの名誉主任である池田博正創価大学最高顧問のメッセージが代読されるとともに、王子奇学長等の挨拶があり、創価大学を代表し鈴木将史学長（現顧問）が祝辞を述べた。

以下、「会議日程」に基づき2名の基調講演を含め、発表論文のテーマを紹介する（以下敬称略）。

#### 「基調講演」

鈴木将史「池田大作の対話運動と21世紀の青年の使命」（創価大学）

林彩梅「池田の王道文化が企業発展に齎す優位性」（中国文化大学）

#### 「第16回池田大作平和思想研究国際フォーラム」

戴惟天「気候変動下における青年の責任」

——池田大作思想からの啓示と行動指針」（中国文化大学）

呉安妮「池田先生の哲学思想が企業の永続的経営管理に与える影響」（政治大学）

高橋強「池田大作の『人間主義』と『人間革命』——教育主義を出発点として」（創価大学）

---

Tsuyoshi Takahashi（創価大学大学院文学研究科教授）

Shingo Horiguchi（創価大学池田大作記念創価教育研究所事務長）

- 唐彦博「池田大作思想を通じて 21 世紀の青年の使命と実践方法を探る」  
(セント・ジョンズ科技大学)
- 傅仲麟「池田大作思想とグリーンエネルギーの発展との関係  
——台湾の太陽光発電の発展を例として」(淡江大学)
- 林奇佑「人工知能と持続可能な医学」(台北医学大学)
- 林少顛「池田大作の平和教育理念が構築した AI 時代の道徳的枠組み」(虎尾科技大学)
- 黃麗鴻「希望と平和の社会へ——創価文化、教育、平和理念からの考察」(雲林科技大学)
- 陳勁廷「主観的要素と客観的要素: 牧口常三郎の幸福論における 2 つの核心的概念」(東華大学)
- 何佳玲「超高齢社会の尊厳と対話——池田 SGI 平和思想の実践」(淡江大学)
- 吳啟新「人間を根本にした企業の持続可能性の指標」(中正大学)
- 莊念青「世界市民教育——池田大作のビジョンと台湾の国際教育」(屏東大学)
- 周建亨「21 世紀の青年の生態学と持続可能な発展における重要な役割  
: 池田大作の視点」(中国文化大学)

「第 10 回池田大作思想研究国際青年フォーラム」

- 古島冬馬「生命の無限の可能性を探る——生命科学と池田思想の視点から」(創価大学)
- 羅健文「池田大作思想の視点から探る 21 世紀のスマート医療の発展  
——精神疾患を例として」(台湾大学)
- 王冠中「池田大作思想に基づく対話の人工知能との協働の価値」(台北大学)
- 鄭宏杰「池田大作思想からの人間主義の福祉経済と精神発展の探究」(台湾大学)
- 蔡幸諺「イスラエル・ハマス戦争をどう解決するか? 池田大作平和思想を通して  
地政学が引き起こしたイスラエル・パレスチナ紛争の解決策を論ずる」(台湾大学)
- 林觀明「偽情報の判読の未来——池田大作の寛容思想を中心に」(東呉大学)
- 陸雅瑩「“人を本とした”世界を構築する  
——池田大作の平和哲学の心理療法における応用」(中山医学大学)
- 劉玫欣「池田大作の人間主義思想が幼児教育従事者の心理的レジリエンスに与える影響  
——創価教育従事者を例として」(台北市立大学)
- 黃光華「沖合風力発電——池田大作思想を通じて台湾のエネルギー転換を探る」(台北科技大学)
- 林立安「台湾創価学会のボランティア組織のアイデンティティ、自我効力感と持続的な  
サービス意欲の関係性についての初歩的な探求」(高雄師範大学)

(2) 「広東外語外貿大学 2025 年池田大作シンポジウム」

2025 年 6 月 29 日、広東外語外貿大学が主催し、創価大学が後援する上記シンポジウムが、広州市内で開催された。「池田大作思想と中日人文交流」のテーマのもと、復旦大学、北京師範大学、厦門大学など中国の 50 以上の大学や研究機関から約 100 人の専門家、学者らが出席した。広東

外語外貿大学から劉建達副学長、創価大学から鈴木美華学長、安武妙子国際部長が挨拶した後、基調講演、分科会へと移った。

以下、「会議日程」に基づき基調講演のテーマ、分科会での発表論文のテーマを紹介する（以下敬称略）。

#### 基調講演

程永華「人文交流『金の橋』を強化し、中日関係の継続的改善と発展を推進する」(中日友好協会)

楊伯江「平和主義の共通点に立脚し、人類運命共同体の構築を共に目指す」(中国社会科学院)

陳多友「池田大作思想と中日人文交流

——人文精神に導かれた文明対話と平和の実践」(広東外語外貿大学)

高橋強「池田大作の『人間主義』と『人間革命』

——教育主義を出発点として」(創価大学)

胡令遠「『理念』の視座から見る戦後の中日関係

——戦後日本思想史における池田大作の位置づけ」(復旦大学)

呉光輝「デジタル化時代における池田大作平和思想の展開と位置づけ」(厦門大学)

張曉剛「池田大作平和思想の学術的価値と現代的意義——平和学を中心として」(長春師範大学)

#### 分科会1 (日本語発表)

胡嘉明「池田大作の詩歌における平和叙事に関する一考察」(貴州大学)

陳毅立「池田大作の『幸福論』の内在的論理とその現代的価値」(同濟大学)

庄婕淳「池田大作の平和思想が中日人文交流に与える示唆

——中日共同世論調査を手がかりとして」(惠州学院)

小林正弘「日中の民間レベルの相互不信を改善する方途を探る

——池田大作平和思想の視点から」(清華大学)

潘永萍「池田大作の生命尊厳の思想から見た老年観

——『第三の人生を語る——高齢社会を考える』を中心に」(広州華立学院)

趙冬黎「『桜に込めた思い』と中日友好の実践」(広東外語外貿大学)

松永源二郎「ティーチングからコーチングへ

——外国語教育における新しい展望」(香港中文大学深圳校)

#### 分科会2

李剛「義をもって心を通わせる——人類運命共同体の視座からみた

文化的道義の探究」(広州南方学院)

官建生「池田大作思想の視座から見る文化差異の克服と中日人文交流の可能性」

(広州華夏職業学院)

孟芮竹・楊鑫穎「池田大作の西洋近代性批判とその現代的価値」(南開大学)

李俄憲・呉江舒悦「池田大作の児童文学創作思想

——その中核的内容、叙事的特色および価値的次元」(華中師範大学)

劉軍「『分断』から共生へ——東洋文明の視野に立ったグローバル協力」(湖北大学)

夏広興「来日僧と宋代における中日仏教文化交流」(上海師範大学)

陳秀武「池田大作の平和思想が中日人文交流に与える示唆」(東北師範大学)

馬利中・江虹「人文学術交流を架け橋として中日関係の民意基盤を強化する  
——上海大学と大阪市立大学の交流 20 年の回顧」(上海大学)

### 分科会 3

蔣菊「人類運命共同体の視野における池田大作教育思想の理論と実践に関する研究」(肇慶学院)

姚新「『池田魯迅』と広東人物との歴史的関連」(広州体育学院)

陳斯怡「池田大作思想が大学の思想政治教育に与える示唆と応用」(広東金融学院)

蔡冬「中国アニメ新潮流と Z 世代の文化的自信の共生メカニズム  
——池田大作の文明対話理論に基づく構成的分析」(大連大学)

楊悦怡「創価学会の中核理念に関する哲学的考察——『師弟不二』を中心に」(貴州大学)

蔡瑞燕「池田大作の中日人文交流の経験とその示唆」(仲愷農業工程学院)

曾建平「池田大作の文明観における六大視座」(浙江工商大学)

### 分科会 4

韋立新「池田大作の女性観および平和思想に関する一考察

——『新たなる地球社会の創造へ』を事例として」(広東外語外貿大学)

劉清源「池田大作の平和観における『法華経』の智慧」(広州新華学院)

王子先「『和漢朗詠集』と和漢文学の融通的照応に関する考察」(広東白雲学院)

湯煥坤「短編ドラマが促進する中日異文化交流の革新的方途に関する研究」(広州南方学院)

陳芬「池田大作と孔子の教育思想における現代的融合」(貴州黔南科技学院)

方志娟「『Labubu』ブームにみる中日青年の自己形成に関する研究」(広東外語外貿大学)

高岳倫「記憶・自己認識・青年外交」(仲愷農業工程学院)

### 分科会 5

孫妍「牧口常三郎の平和思想と実践に関する研究」(長春師範大学)

頼国文「平安朝漢文学から見る『紅梅』の日本伝来」(肇慶学院)

蔡暢「池田大作思想の影響下における日本公明党の対中交流に関する研究」(上海政法学院)

王進偉「池田大作平和思想の現代的価値

——生命尊厳観・文明対話メカニズム・民間外交の道筋に基づく三次元的考察」  
(貴州大学)

龍維「池田大作の文明観と人類文明の新たな形態の構築」(広州南方学院)

夏晶晶「『新人の覚醒』と『人間革命』

——大江健三郎と池田大作の教育の本質をめぐる考察」(華中師範大学)

衡中青「中国における池田大作研究の現状に関する量的分析」(佛山大学)

#### 分科会6

王鵬飛「『人間革命』から『文化共生』へ

——池田大作平和理念の中日交流に対する応用と示唆」(天津師範大学)

馬涛「池田大作写真芸術の美学的含意」(貴州黔南科技学院)

劉愛君「民間人士による中日人文交流促進の事例研究」(大連工業大学)

グラーム・ムルタザー・カーン「Advancing Sino-Japanese Cultural Dialogue Through Daisaku Ikeda's Peace Philosophy: A Youth-Led Framework for Value-Creation」(仲愷農業工程学院)

劉斌「平和主義思潮の視点から見た池田大作の平和観」(仲愷農業工程学院)

楊鶴「池田大作教育思想が現代の教育従事者に与える実践的示唆」(肇慶市高要区第一中学)

劉建榮「中国式現代化における人類運命共同体の意義」(湖南師範大学)

### (3) 院生、学部生、学生団体等のフォーラム

#### ①大連工業大学が「第13回中日青年池田思想読書会」を開催

2025年5月24日25日、大連工業大学外国語学院による上記読書会が開催された。これには北京留学中の創価大生・アメリカ創価大生計12名が参加し、同大学日本語学科の学生約25名と共に、池田氏の著作『青春対話』を題材に、「語学」や「働くこと」をテーマに活発に意見が交わされた。同研究所の劉愛君所長があいさつし学生らを激励した。

#### ②河北外国語学院と創価大学が共催し「創価杯 作文コンクール表彰式」を開催

2025年5月28日、河北外国語学院と創価大学が共催した「創価杯 作文コンクール」の表彰式が同学院で行われた。「言葉で未来を築こう——周恩来総理と池田大作先生の精神を受け継ぎ、時代を担う優れた若者を目指そう」とのテーマのもと、周総理と池田氏の一期一会の会見の意義を理解することを目的に開催された。コンクールは大学生部門、高校生部門に分けて実施され、大学生および附属高校の生徒計409名が作文を応募し、厳正な選考を経て、22名の学生・生徒が入賞した。表彰式には同学院から同学院池田研究センター主任である日本語翻訳学院の趙騰執行院長、施立潔業務院長、国際交流合作処王雲麗副処長、日本語学院教研室劉曉菲主任、朱雪雪氏、学年主任の劉一鳴氏などが出席するとともに、創価大学北京事務所、北京留学中の創価大学学生、卒業生等が参加した。主催者である趙騰執行院長より「コンテスト実施にあたり、孫建忠学長が池田思想の偉大さと温かさに感動し全面的に支援してくれています。池田先生の精神を一人でも多くの学生に伝えるべく引き続き努力したいと思います」と抱負が述べられた。

表彰式の後、両校の関係者が教育理念や人材育成について、活発な交流と意見交換を行った。なお、同学院から2023年に池田氏に終身名誉教授称号が授与されている。

③仲愷農業工程学院が「池田大作初訪中51周年記念研究会」を開催

2025年6月3日、仲愷農業工程学院の学生団体である「廖承志・池田大作研究会」が池田氏の初訪中51周年を記念する研究会を開催した。同学院外国語学院柴明勤党書記は「中日友好協会会長を務めた廖承志先生と池田先生の精神を継承し、両国の若い世代の相互理解と信頼の促進を」と強調した。同学院マルクス主義学院蔡立彬院長、廖仲愷何香凝記念館劉斌副館長、同学院廖承志・池田大作研究センター蔡瑞燕副主任らが、池田氏の初訪中の歴史的意義、両国の青年交流などについて語り、同センター高岳侖主任があいさつし学生らを激励した。

④南開大学「周恩来・池田大作研究会」が読書交流会を開催

2025年6月15日、南開大学の学生団体である「周恩来・池田大作研究会」の読書交流会が「池田大作思想における人文的関心」とのテーマのもと開催された。山西大学マルクス主義学院の王育鋒講師が自身の学術成果を共有した後、学生による討論が行われた。

今回の読書会は、対面とオンラインを組み合わせた形式として行われ、「池田大作思想の人文精神とその時代的価値」を探究するものとなり、学問的深さと実践的関心を兼ね備えた思想的対話が展開された。

講評と指導を行った南開大学マルクス主義学院の紀亜光教授は、池田氏の人間主義思想に見られる生命尊厳の哲学的基盤、対話主義の実践、人類共同体への倫理的関心はいずれも注目に値するとして、その思想に学ぶことで、学際的視野とグローバルな思考が培われ、専門知識をより広い視野で深化させることができると評価した。また、学生たちの池田人間主義思想への理解について、生命・人間性といった核心的テーマを捉え、その内包を深く論じ、人生の充実や生活問題への対処といった哲学的意義を明らかにした点を高く評価した。加えて、池田氏の「人間革命」の精神は、個体の内面に向けた変革を重視し、対話と理解を通して自我の向上と調和的共生という理念に合致することを強調した。

⑤仲愷農業工程学院が「周恩来・池田大作会見51周年記念座談会」を開催

2025年12月5日、仲愷農業工程学院の学生団体「廖承志・池田大作研究会」が、「精神を継承し、担うことを恐れず、平和を守る」をテーマに周恩来総理と池田大作氏の会見51周年を記念する座談会を開催した。学内関係者および専門家、教職員・学生代表が参加し、周総理が池田氏に寄せた友好と世界平和への評価と継承を改めて確認するとともに、青年の歴史的責任について意見交換が行われた。同学院「廖承志・池田大作研究センター」主任である高岳侖元党書記が、1974年に周総理が病を押して池田氏と会見した史実を回顧し、軍国主義に反対し平和を堅持してきた精神の今日的意義が指摘された。また、高元書記は、中日関係の発展過程と四つの政治文書の重

要性を踏まえ、青年が歴史を銘記しつつ理性的かつ主体的に民間交流を推進する必要性を強調し、「関係が緊張する今こそ、お二人の精神に立ち返り、平和を守る決意を共有したい」との励ましを寄せた。

## 2. 池田思想研究に関する掲載論文等

### 2-1. 論文集発刊

(1) 南開大学が「第9回池田大作思想国際学術シンポジウム論文集」を発刊

2025年12月、南開大学出版社より『文化交流と文明融合——第9回池田大作思想国際学術シンポジウム論文集』が発刊された。2016年10月22日より天津市の南開大学で開催された同シンポジウムの発表論文を掲載したもので、池田大作氏が寄せたメッセージ、中国人民対外友好協会李小林会長の祝電に加え、分野別に平和主義15本、文化主義14本、教育主義15本、人間主義14本、計58本の論文が掲載されている。

### 2-2. 掲載論文

(1) 『紹興魯迅研究』2024年（2024年12月31日）

卓光平『『ペンの戦士』池田大作に見る魯迅と巴金』（紹興文理学院）

(2) 『大連大学学报』2025年第1期（2025年3月6日）

王明兵『池田大作生態哲学の理論の源、核心要義と実践の方向』（東北師範大学）

王育峰『人類文明的視野における池田大作の対話思想と現代価値』（山西大学）

張曉剛、呂宇航『池田大作の生命畏敬理念を探る』（長春師範大学）

周雯『池田大作世界市民教育理念を探る』（湖南師範大学）

## 3. 講演・講座等

### 3-1. 講演

(1) 叢暁波「人文学の観点から見た日本研究の可能性」（創価大学）

2025年6月13日、天津外国語大学日本語学院の連続講演シリーズ「天外導師講壇」でオンライン講演を行った。講演では、「幸福」というテーマを手がかりに、日本研究の現状と今後の発展について、池田思想を例に挙げ、その特色と「池田の幸福思想」を多角的に理解することの重要性を述べた。

### 3-2. 講座

(1) 「中国池田研究事情」（創価大学）

創価大学で2023年度より開講した中国池田研究事情をテーマとした「総合科目特講」が、2025年度秋学期に開催された。中国の各研究機関による池田思想研究の成果の発表の場として、

創価大学の学部生を対象に、複数の講師陣によるオムニバス形式の授業として、池田思想研究者が現地からオンライン（一部対面の場合あり）でまたリアルタイムで講義を実施した。

担当した研究者は以下の14名（敬称略）

2025年9月18日 叢暁波「中国の池田研究について」（創価大学）

2025年9月25日 曾建平「池田大作環境思想」（浙江工商大学）

2025年10月2日 陳多友「池田大作思想と中日人文交流

——人文精神に導かれた文明対話と平和の実践」

（広東外語外貿大学）

2025年10月9日 孫妍「池田大作の中国観が中日大学生に与える啓示」（長春師範大学）

2025年10月16日 崔学森「池田教育思想の中核とその生命哲学の淵源」（大連外国語大学）

2025年10月23日 韋立新「東洋の智慧の魅力——中国学術界に広がる池田研究」

（広東外語外貿大学）

2025年10月30日 冉毅「池田思想の人間主義及び人間教育の実践」（湖南師範大学）

2025年11月6日 高橋強「池田大作の『人間主義』と『人間革命』

——教育主義を出発点として」（創価大学）

2025年11月13日 賈凱「SGIの日記念の平和提言から見る池田大作先生の平和共生思想」

（北京大学）

2025年11月20日 劉愛君「池田大作の中国観とその影響

——1974年の初訪中を中心に」（大連工業大学）

2025年11月27日 紀亜光「周池会見の歴史的価値」（南開大学）

2025年12月4日 陶金「『平和』・『対話』と二十一世紀の『女性』

——池田大作先生の女性観とその現代的意義」（大連海事大学）

2025年12月11日 譚桂林「私の池田大作思想研究」（湖南大学）

2025年12月18日 松永源二郎「私の池田研究」（香港中文大学 深圳校）

## (2) 「世界文明概論」（湖南師範大学）

湖南師範大学で2024年度から開講した外国語学院1年生向けの「世界文明概論」が2025年度も継続して開講され、同学院の冉毅教授（池田大作研究所副所長）が、計4クラスの受講者約320名に対して「池田大作の文明観」の授業を行った（11月11日、12月2日、12月4日、12月11日）。

#### 4. その他

(1) 2025年度の中日友好研究助成の審査結果が発表され、以下の採択があった。

日本への研究派遣

黄順力「人類文明的視野における池田大作『平和融合と文化復興』思想研究」(厦門大学)

劉澤軍「池田大作インタビュー集の日中翻訳および伝播効果研究」(天津外国語大学)

李辛「『金の橋』の道に沿って永遠に歩む」(渤海大学)

研究プロジェクト

衡中青「中国における『池田大作研究』文献索引データベースの構築」(佛山大学)

学術会議支援

陳多友「池田大作思想と日中人文交流」(広東外国語貿易大学)